

2022年 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	老年援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	2年生教室
担 当 教 員	横山 加奈子 中村裕子	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>老年期の身体、心理、社会的機能の特性をふまえ、老年期に代表的な障害や疾患をもつ高齢者への看護援助方法を身につける。特に障害や疾病が生活に及ぼす影響をとらえ、高齢者の生活の質を考えた援助方法について考える能力を身につける。また、保険医療福祉施設それぞれ場の特徴を踏まえた看護を学び、高齢者とその家族の多様なニーズに対応するための多職種連携について理解する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>出席状況、課題提出状況、筆記試験での総合的な評価 横山:50%、 中村:50%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①専門分野Ⅱ 老年看護学(医学書院) ②専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患(医学書院) ③生活機能からみた老年看護過程 ～病態・生活機能関連図～(医学書院)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料や教科書での復習を行う。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>高齢者の特徴や加齢に伴う身体機能の変化、高齢者とその家族を取り巻く現況や社会制度について復習しておくこと。老年援助論Ⅰで学んだ高齢者の日常生活援助についても復習し、理解したうえで本授業に臨みましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 授業を通じての到達目標	検査・薬物療法を受ける高齢者の留意点と看護が理解できる。		テキスト①② 配布資料	事前学習:テキスト「A検査を受ける高齢者の看護」「B薬物療法を受ける高齢者の看護」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	検査・治療を受ける高齢者の看護について学ぶ①:検査・薬物療法と看護(横山)				
第2回	講義 授業を通じての到達目標	高齢者に特有な症候に応じた看護が理解できる ・高齢者が経験する脱水について、症状の成り立ちと臨床的特徴、看護について理解できる		テキスト①② 配布資料	事前学習:テキスト「症候のアセスメントと看護」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	症候のアセスメントと看護:発熱、痛み、嘔吐、浮腫(中村)				
第3回	講義 授業を通じての到達目標	高齢者に特有な症候に応じた看護が理解できる ・高齢者が経験する痛みについて、症状の成り立ちと臨床的特徴、看護について理解できる		テキスト①② 配布資料	事前学習:テキスト「症候のアセスメントと看護」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	症候のアセスメントと看護:痛み、掻痒感、褥瘡(中村)				
第4回	講義 授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい感染症の症状と看護が理解できる。		テキスト①②③ 配布資料	事前学習:テキスト「症候のアセスメントと看護」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:感染症				
第5回	講義 授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすいCOPD、呼吸障害の症状と看護が理解できる。		テキスト①②③	事前学習 COPDの病態生理・症状について復習しておく。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:COPD、呼吸障害(横山)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい骨粗鬆症の症状と看護が理解できる。		テキスト①②③	事前学習 骨粗鬆症の病態生理・症状について復習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケア:骨粗しょう症(横山)			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい骨折の症状と看護が理解できる。		テキスト①②③	事前学習 大腿骨近位部骨折の病態生理・症状について復習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:骨折(横山)			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい糖尿病の症状と看護が理解できる。		テキスト①②③	事前学習 糖尿病の病態生理・症状について復習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:糖尿病の看護について理解できる(横山)			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい脳梗塞の症状と看護が理解できる。		テキスト①②③	事前学習 脳梗塞の病態生理・症状について復習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:脳梗塞(横山)			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすいパーキンソン病の症状と看護が理解できる。		テキスト①②③	事前学習 パーキンソン病の病態生理・症状について復習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:パーキンソン病(横山)			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	うつ、せん妄のある高齢者の症状や発症機序、看護について理解できる。		テキスト①②	事前学習 テキスト第6章「C認知機能障害のある高齢者の看護」を読んでわからないところを明確にしておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	認知機能の障害に対する看護ケアについて学ぶ:うつ、せん妄(中村)			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	認知症の種類、中核症状、BPSDなどについて理解できる。		テキスト①②	事前学習 テキスト第6章「C認知機能障害のある高齢者の看護」を読んでわからないところを明確にしておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	認知機能の障害に対する看護ケアについて学ぶ:認知症①(中村)			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	認知症がある高齢者への看護が理解できる。		テキスト①②	事前学習 テキスト第6章「C認知機能障害のある高齢者の看護」を読んでわからないところを明確にしておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	認知機能の障害に対する看護ケアについて学ぶ:認知症②(中村)			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	高齢者の生活の場である保健・医療・福祉施設の看護について理解できる		テキスト①	事前学習 介護保険における3つの施設サービスについて復習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	保健医療福祉施設の看護について学ぶ(中村)			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	高齢者におけるエンドオブライフケアについて理解する。終末期における意思決定について考えることができる。		テキスト①	事前学習 老年期の発達課題について復習しておく。エンドオブライフケアについて自己学習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
	各コマにおける授業予定	高齢者の終末期における看護ケアについて学ぶ(中村)			